

朝ノ姉妹の日常（非公式）

海がめ?朝ノ衆

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

朝ノ姉妹。ぶろじえくの二次創作になります

海がめが勝手に妄想している物語ですので皆様のイメージとはかけ離れているかも
しません。ご了承ください

この物語は海がめの妄想によつて淡々と紡がれています。過度な期待はしないでく
ださい。液晶画面から300メートルは離れて見やがつて下さい。コノヤロー。

はじめに

目

次

はじめに

…ポチ…ポチ…ポチ

「え、何この子めっちゃ可愛いフォローしどこ」

あとはT Lの巡回も忘れずに、つと

やつぱりTwitter最高やめらんないわ〜

「ぎやああああア、ア、ア、ア、ア、ア、」

「ふんっ！ふんっ！フンっ！」

ペチン！ペチン！ペチン！

「つ…このつ…やめて〜〜！いじめないでなのだー!!」

「ア、ア、ア、ア、ア、ア…いいよ〜こいよ〜この野郎！」

…まあた　　あー　　がなんかやつてる…、もう仕方ない子だなあ

ふふ

この御屋敷では本当にいつも楽しくて面白くてわやくそにくつだらないことばかり
…朝ノ衆のみんながこんな様子を見たらどんな反応するんやろ

そんなことをニマニマと考えながら

「もう、あーちゃん今度はどうしたの？また蜘蛛やGでも出たの？」

「瑠璃ちゃん！（＊TのT＊）ちょっとゲームをやつてたらみんながいじめてくるのだ！」

「このハリネズミとコアラが！」

そうして隣にちよこんと座つてる筋肉ムキムキのハリネズミと眼鏡をかけてるコアラの2匹を指差すあーちゃんこと朝ノ茜。

ニヤニヤ

ニヤニヤ

2人：いや2匹とも、ちらを向いてニヤニヤしている

このイキリハリネズミ…

「…ノリさん、スマ○ラもいいですけれどちょっとテト○スをしません？（＊＊＊）」

「いいですねえ、ちょうどス○ブラばかりで飽きてきましたし…」

あーの仇絶対取つてやるからなあ…

対戦モードで…つと

ゲームスタート！

…順調に詰んではミノを消していく1人と1匹、観客である茜とコアラのシャイさん

も見守る中ノリさんが集中を切らして痛恨のミスそしてその瞬間を瑠璃ちゃんこと朝ノ瑠璃は見逃さなかつた

「あつれれえ？ w ピンチですか？ w ピンチですかあ??? w w w」
「ノリさん手加減した方がいいですかあ??? w」

煽る

必要以上に煽る

この自称清楚 ○ なお姉ちゃんはツイ廃のあまりネットに毒されてしまつた残念な：
ヒエッ：とつても清楚なお姉ちゃんです！

裏表なく！あるのはバミューダと呼ばれる下乳覗き放題の朝ノ衆の桃源郷！…話が
それてしまつたな…

話を戻そう

カチンツ

本気を出すハリネズミ

異常な速度で瑠璃姉えにおじやまブロックを送り付けてほくそ笑むハリネズミ

「え・え！え？ちよつちよつと！」

にやり

一度テンパると中々抜け出せない瑠璃姉え、一戦目はノリさんに軍杯が上がった。

「ノリさん！もう1回!!」

「いいですよ、まあ何回やつても同じですけどね」

すっかり蚊帳の外のあーちゃんとシャイさんはお互に見合って「またか」とため息をもらす。

もちろんそのまま晩御飯の時間まで2人を見守ると言うことだ。

これはそんなどえてえてえて朝ノ家の日常だ。